

# 水辺のふるさと かつしか

春号

2020.12-2021.2

自然環境レポーター(通)信



写真のタイトル:「コサギ」

撮影場所:宝町 写真提供:神山 隆敬

# 水辺のふるさとかつしか 春号

## 目次

- 1 55種の動植物調査結果 ..... P 2
- 2 自由レポート ..... P 3～13
- 3 季節の写真集 ..... P 14～16
- 4 魚からの便り ..... P 17～20
- 5 環境課からのお知らせ ..... P 21



### 編集担当からのひとこと

令和3年に入って初めての季刊誌です。

先日、かつしかっ子探検隊のイベントで玉ねぎの皮を使ったハンカチ染めを行いました。ビー玉や割りばし、輪ゴム等を使ってハンカチに模様を付け、玉ねぎの皮を煮込んだ茶色い液の中に漬けて煮込みます。子ども達は、夢中になって作業をしていました。そして、染め上がったハンカチを広げてみると、思っていた形とは違いますが、素敵な模様が出来て子供たちも大喜びでした(^\_^♪ いつもは捨ててしまう玉ねぎの皮でこんな素敵なものができると知った半日でした。その日は雨で自然観察に行けなかったので、待っている間に、かつしか生きものトランプをしました。生きもの名前や特徴が分かり、色々な遊び方を教えてもらい楽しかったです。今度、レポーター研修でもやってみようと思っています。(ちなみに、かつしか生きものトランプは区政情報コーナーにて300円で売っています。)

\*\*\*丸山\*\*\*

# 55種の動植物 調査結果（12月～2月）

## 【調査区1】

0種

## 【調査区2】 計4種

〈鳥類〉コガモ、コサギ、  
〈植物〉シロツメクサ、オオバコ、

## 【調査区3】 計6種

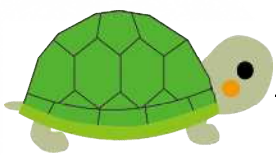
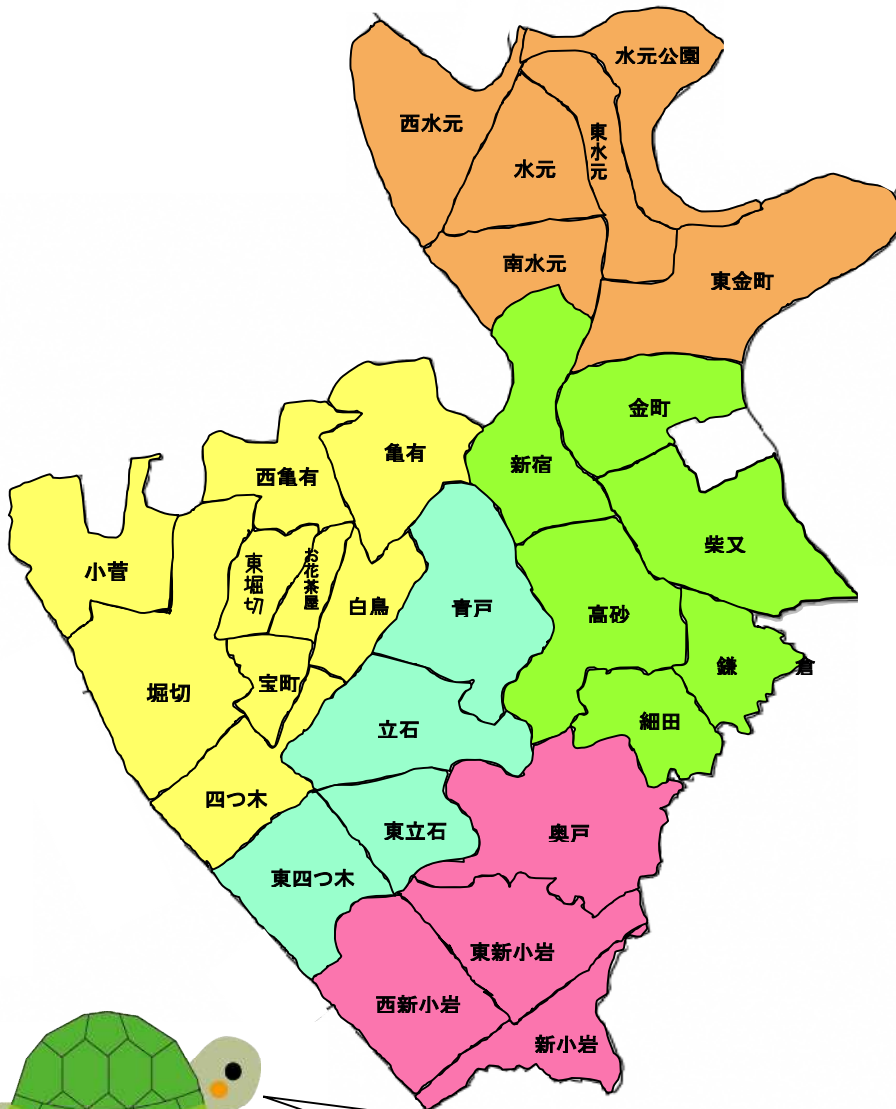
〈鳥類〉ツグミ、コサギ、カワセミ、  
シジュウカラ  
〈植物〉スギナ、  
〈爬虫類〉ミシシippアカミガメ、

## 【調査区4】 計3種

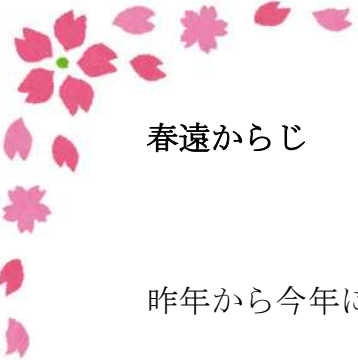
〈鳥類〉ツグミ、ウグイス、  
シジュウカラ

## 【調査区5】 計9種

〈鳥類〉コガモ、ツグミ、コサギ、  
カワセミ、シジュウカラ  
〈植物〉イモカタバミ、セリ、  
カントウタンポポ  
〈爬虫類〉ニホンカナヘビ、



赤字は外来種だよ



## 春遠からじ


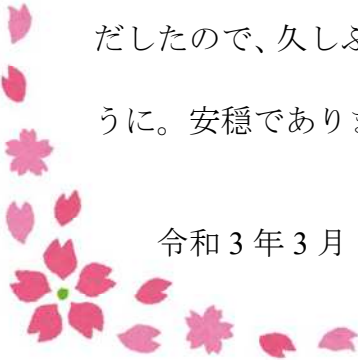
## 弥生さくら草

昨年から今年にかけて世界的にコロナが大流行したおかげで、季節の移り変わりを意識せずに過ごしたが、気がついたら春になっていた。近年夏の暑さは厳しくて冬は非常に寒かった。地球も老いたのだろうか。その上災害はひっきりなしである。東日本大震災をはじめ悲惨な災害は数多く、三月は忘れることが出来ないことが多い。私たちは不要不急の合言葉で外出が禁止されていたのに、待たされた春と共に桜花の季節が訪れたが今年も花見の宴会が禁止である。世界中で一番美しい桜の観賞が思うように出来ない。これも語り草になるだろうか。

私事ですが先月夫が花咲く春を待たないで旅立った。長年病床にあり家族の介護や医療の介助で永らえていた。「花見に一緒に行こうね」と励ましたがそれも叶わなかった。近くを流れる中川沿いの森永工場裏の桜並木は隠れた名所だと思っているくらいである。一日中観ていて飽きることがない。朝は清々しく、昼は爛漫で、夜は凄艶である。だからその間中は度々通うのが常である。

弥生も半ばになると春の花々も咲き始めた。春の文字をもつ椿も満開である。義母が大好きだった赤い大きな斑入りの「太神楽」と呼ぶ椿の花が咲き誇っている。もう二百年を越えているという。木瓜も明日葉も活動を始めた。草も新芽をだしたので、久しぶりに草取りを試みた。これから世情が治まり好き年になるように。安穩でありますように…と願っている。

令和3年3月11日



氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2020年12月5日

# 紅葉

この自然環境レポーターをしていると、基本的に葛飾区内の自然のレポートを提出するので知ったのですが、紅葉といえばモミジやカエデが真っ先に出てきますが、葛飾区内では自生していません。

公園とかに植えてあるものを見ながら自生地を想うのもなかなか良いですし、好きです。

が、自生していないので、なんとなく「日本＝富士山」みたいな「日本の秋＝紅葉＝モミジ」のようなレッテル感があるような気がしてきました。

そんな中、区内の自生植物で、紅葉するのはツタだと知りました。

葉っぱの形もモミジに似ています。

「ツタモミジ」と昔から呼ばれ、愛でる対象だったようです。

最初はプラプラ観察している間に「紅葉しているな」とおもっていただけだったのですが、何か所か見ているうちに、気に入った場所を見つけ、少しずつ好きになりました。

ちよくちよく見ごろを確認しに行くので、あまり遠くにモミジを見に行けなくなりましたが、満足しています。

モミジを見に行くときもそうなのですが、モミジ+オシドリや、モミジ+樺類など、貧乏性で2つ3つ見どころがないとわざわざ見に行かないのですが、そこも他の植物との組み合わせが美しく、気に入っています。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年1月2日

## カイツブリ



2020年12月13日 区北西部 カイツブリ

和歌では葛飾について歌うとき、カイツブリ（鴉・にお・におどり）が枕詞として付けるのがお決まりだったそうです。昔の葛飾はもっと広い範囲を指していて今の範囲とは違うそうです。

におどりは冬の季語だそうで、TV番組で俳句をやっていた時に少し興味をもって調べたときに知りました。

私はカイツブリの鳴声が美しく、好きです。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年2月6日

## カンムリカイツブリ



2021年1月2日 区北西部 カンムリカイツブリ



2021年1月2日 区北西部 カンムリカイツブリ

普通のカイツブリより大型でこんなのも時々います。

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

12月6日(日)午後2時から4時まで、天気は晴れ(風なし)、気温は13度くらい。都立水元公園の水辺のいきもの館周辺。本日はESD-KA主催自然観察会(講師は佐々木洋氏)だ。野鳥は、ジョウビタキ、シジュウカラ、スズメ、キジバト(1)、ヒドリガモ、オオバン、ハクセキレイ(2)、アオサギ(2)、カルガモ、ヒヨドリ、ムクドリ(1)、コガモ(5)、バン(1)を見つけた。昆虫類は、コバネイナゴ(2)、ナミテントウ(1)、ハバチの幼虫、ハラビロカマキリの卵のう(2)を見つけた。植物は、ニシキギ、イロハモミジ(紅葉)、ヘビイチゴ(赤い実、黄色の花)、カラスノエンドウ(ピンクの花)、サザンカ(花)、マユミ(ピンクの花)、ヨシ、ムラサキツメクサ(残りの花)、シマスズメノヒエ(残りの花)、セイバンモロコシ(赤い花)、キンエノコロ、アメリカセンダングサ(実)などを見つけた。ケヤキやイチョウ、クヌギの木々が紅葉し、西日の木漏れ日が綺麗だった。暖かい観察会となった。秋と冬、さらに春の野草が咲き乱れ、地球温暖化を感じる観察会にもなった。

12月13日(日)午前11時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は13度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、ハクセキレイ(2)、オオバン(4)、メジロ(5)、シジュウカラ(6)を見つけた。植物は、ヨシ、アメリカセンダングサ、ホトケノザ(花、5)、セイヨウタンポポ(1)、エノコログサ、オッタチカタバミ(2)を見つけた。

12月20日(日)午後2時頃、天気は晴れ(風強し)、気温8度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ユリカモメ(8)、オオバン(3)、カワウ(2)、ムクドリ(4)を見つけた。植物は、ホトケノザ(花、3)を見つけた。

12月25日(金)午前10時頃、天気は晴れ(風なし)、気温6度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ヒヨドリを見つけた。植物は、オッタチカタバミ(2)、サザンカ(花)を見つけた。スギやモミジの紅葉が美しい。まだ落葉がすすんでいなかった。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の一年でした。本日の産経新聞の一面の見出しには、「国内感染 最多3739人 東京888人、神奈川495人」とあった。日本国内で、第3波の感染拡大が続いており、年末では、東京で1000人、全国で5000人の一日の感染者が予想されている。世界でも、感染拡大は止まらず、イギリスをはじめとしたヨーロッパでコロナ変異種が見つかり、拡大していると報道が伝えている。また、ワクチン開発がすすみ、世界ではワクチン接種が始まったという報道には、希望を感じる。私たちは、日常の感染対策を怠らず、ニュースを注視して生活することが大切だと思う。そして、広い視野で社会動向を考え、冷静に行動することが重要だ。(12月25日)



1月1日(金、祝)午後2時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は10度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ユリカモメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ(2)を見つけた。植物は、ツバキ、サザンカを見つけた。この日の最低気温は、-1.3度だった。

1月3日(日)午前11時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は5度くらい。亀有5丁目の自宅周辺。野鳥は、ヒヨドリ、スズメ(1)を見つけた。植物は、オッタチカタバミ、イモカタバミ、ノグシ、ヒメツルソバを見つけた。サザンカやツバキの花、ミカンの実を見つけた。

1月11日(月、祝)午前10時頃、天気は曇り(風なし)、気温は4度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、ヒヨドリを見つけた。植物は、オッタチカタバミ、ツバキ、サザンカを見つけた。

1月16日(土)午後2時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は18度くらい。亀有5丁目の自宅周辺。野鳥は、ヒヨドリ、シジュウカラ(1)を見つけた。植物は、オッタチカタバミ、イモカタバミ、ノグシ、サザンカ、ツバキを見つけた。

2月7日(日)午後1時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は15度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ(3)、ハクセキレイ(1)、メジロ(1)、カンムリカイツブリ(2)を見つけた。植物は、ホトケノザ(3)、オオイヌノフグリ(5)を見つけた。春の野草を見つけ、暖かくなってきていることを実感した。

2月20日(土)午前10時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は12度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、メジロ(1)、シジュウカラ(3)を見つけた。植物は、タネツケバナ、セイヨウタンポポ(1)、イモカタバミ、オッタチカタバミ、ノグシ、ハコベ、ホトケノザ、オランダミミナグサを見つけた。

2月21日(日)午前11時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は20度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、オオバン(4)、ムクドリ(4)、ハクセキレイ(2)、シジュウカラ(3)を見つけた。植物は、オランダミミナグサ、オオイヌノフグリ、セイヨウタンポポ(3)、ホトケノザ、ミチタネツケバナ、ハコベを見つけた。昆虫は、キタテハ(2)を見つけた。春の陽気になったので、チョウも目覚めたようだ。この日、最高気温は20.9度だった。

年末年始にかけて、予想していたとおり新型コロナウイルス感染症が拡大していった。1月7日、菅首相は感染症の拡大傾向を判断して、1月8日から2月7日までの2度目の緊急事態宣言を首都圏や関西圏、中京圏などに出し、国民に対しての注意喚起を促した。1月19日付の産経新聞の社説で、「通常国会が召集され、菅義偉首相が就任後初めての施政方針演説を行った」と報じてい

た。「安全保障、経済、憲法などテーマは多いが、最大の焦点は新型コロナウイルス対策である。新型コロナ感染症が全国で広がり続け、11都府県で緊急事態宣言が発令中だ。感染者や重傷者の数は、昨年4月の宣言時を大きく上回る。入院先や宿泊療養先が見つからない人が東京都で7千人を上回るなど、大都市部を中心に医療崩壊が始まっている」とも報じていた。「菅首相は演説で、コロナとの『闘いの最前線』に立ち、難局を乗り越えていくと決意を語った」「2月下旬までにワクチン接種を始めるよう準備中だとし、特措法改正、コロナ病床の増床についても説明した」と報じている。社説で、「菅首相も国会も、国民がコロナ対策に進んで協力する気持ちになるような働きを示すときだ。現在実施中の対策の変更や強化も、ためらってはならない」と書いていた。

政府や自治体の施策に頼ることなく、国民一人ひとりが新型コロナ感染症をはじめとする社会的課題に取り組む必要がある。それには目標が必要で、SDGs（持続可能な開発目標）が効果的である。最近、発行された本、『SDGs（持続可能な開発目標）』蟹江憲史、中公新書や『SDGs－危機の時代の羅針盤』南博・稲葉雅紀、岩波新書などを参考に、自分ごととして取り組むことが大切だ。

SDGsには、17のゴールと169のターゲット、232の指標がある。ターゲット16-2に、「子どもに対する虐待、搾取、取引およびあらゆる形態の暴力および拷問を終息させる」とある。日本にも、子どもに対する暴力、虐待は様々な形で存在する。学校におけるいじめ、家庭内暴力、インターネットでの中傷、児童ポルノなどである。産経新聞でも、2月10日から3回に分けて、「なくせ性暴力～子供を守れているか」という特集記事が書かれていた。中学時代の性暴力被害が28年後、やっと法廷で認められたことなど報道されていた。学校での密室の中、闇に消された事件はたくさんあると思う。産経新聞には、こういう記事も載っていた。2月9日の東京版で、「コロナ禍 今こそ支援の輪」という記事である。豊島子ども WAKUWAKU ネットワークの栗林知絵理事長の特集であり、理事は「子どもの苦しみが顕在化した今こそ、地域の支援の輪を掘り起こすチャンス」と前向きにとらえてインタビューに答えていた。栗林理事は、「平成23年に知人の男子中学生から『先生に（学習面の遅れかで）都立高校へいけない』って言われたと相談を持ちかけられたのをキッカケに、『おせっかいおばさん』をやろうと思った」という。「(なんとかしてあげたい)と思って、男子中学生を自宅に招いて勉強を教えたり、塾代として受給したお金の返済のための寄付を募集する支援活動をして、24年同法人を立ち上げた」というような記事があった。その後、この法人は、※『遊びサポート』『学びサポート』『暮らしサポート』という包括的なネットワーク組織として活動を発展させた。私たちも、この活動をモデルに取り組んでみたいと思う。(2月23日、天皇誕生日) ※「知る・わかる・伝えるSDGs I」阿部治・野田恵、学文社より引用

# 自然環境レポート R2/12～R3/2月の巻

調査区 5

佐々木 定治

## 寒空の令和2年の終わりに ～そして消える季節の指標～



12/25 水元公園 ユリカモメ①



水元3丁目 ヤツデ②



水元3丁目 サザンカ③



へビイチゴ④



水元公園フジバカマ案内板⑤ -



フジバカマ自生地⑥



フジバカマ種子採取⑦



フジバカマ種子⑧

令和2年12月21日の産経新聞に消える季節の指標なる記事が掲載されていました。～ウグイスの初鳴き、チューリップの開花・・・季節の訪れを示す指標として気象庁が続けてきた動植物の観測の大部分が、今月いっばいで終了することになった。生息数が減って確認が困難になったり、温暖化の影響で指標自体が「季節外れ」となってきたりしていることなどが原因という。70年近く続いてきただけに戸惑いの声も上がるが、「予報」から「防災」に軸足を移そうとしている気象庁の変化も背景にある……。〈令和2年(2020年)12月21日付産経新聞〉私は、70年も前から季節の変化の兆しとしての、自然界の営みの指標そのものが、消えてしまう心配や不安にかられてしまう自分に戸惑いを隠せません。

# 令和3年の春を迎えて



1/12 水元3丁目 フキノトウ⑨



タゼリ⑩



1/18 ボケ⑪



2/5 ヒレンジャク⑫



タンポポ⑬



ナバナとミツバチ⑭



2/26 ホトケノザ⑮

① レポーター観察会で撮影  
⑤～⑧フジバカマ種子の採取風景  
⑨水元の水辺にフキノトウほろ苦さが絶品  
⑩芳香豊かなるタゼリの繁茂に感激  
⑫本当に貴重なヒレンジャクです。水元3丁目  
で召された状況で撮影し、しかるべき方に連絡  
して、剥製にしているようです。地球温暖化や  
森林減少で絶滅が心配されている鳥類です。  
※このヒレンジャクには打撲跡がありました。

ヒレンジャク（緋連雀、学名：*Bombycilla japonica*）は、  
北東アジアに生息する スズメ目レンジャク科 に分類  
される 鳥 である。日本 では 冬鳥 として見られる。

氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
自分で指定（観察地内の植物と昆虫・指定種中心）					
鳥類は大橋周囲～小合溜を観察					
令和3年	タンポポ	シロツメ	サギ類	カモ類	
12月10日	2	多数	1	300以上	
1月11日	0	0	1	100	
2月10日	1	0	1	200以上	



### 植物情報

令和3年1月の観察日は快晴だった。日本海側は豪雪被害が報道されているが、関東は暖冬で公園の観察地周囲では春の花「ボケ」「ネコヤナギ」をみた→写真  
西洋タンポポは土にへばりついて咲いていた。



### 野良猫情報

令和3年1月の観察日、菖蒲田の隅に二匹の猫がいた。見事な肥満振りに思わずカメラをむけた。近所にも野良猫は数匹いるが、ここまでの肥満にはあったことがなかった。2月の観察日に彼らはいなかったが、いつものスマート猫は2匹いた。散策者に



「強い風で寒いわねー」と声をかけられた。老婦人は92歳だという。「2年前に飼猫が死亡し寂しかったけどガマンしていた。知人に紹介され毛がふさふさの白い子猫を高かったけど飼っている。やっぱりいいわね・・・」  
若々しい歩き方だ。太極拳のような体操を続けているという。コロナの外出自粛をいいわけに運動不足気味の私は脱帽した。

### 野鳥情報

令和3年1月の観察日は溜池に多数のカモ類がいた。その一角で5歳位の女の子が食パンをちぎって餌上げをしていた。そばに40才位のお母さんがいた。

「こんにちは、野鳥に餌上げはまずいのですが」  
「あら、看板が出ていないからいいのかと思った。塩分がないお米ならいいということ」  
うーん、見事な質問で答えに窮した。たしかに看板はないな？  
2月の観察日、50羽ほどのカモ類が地面をついばんでいる。これがあるべき姿だよね……。

## 葛飾区自然環境レポーター 自由レポート（2020年12月～2021年2月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：主に5-24、5-26	町名：東金町
-----------	-----------------	--------

12月5日（土）水元公園にて自然環境レポーター研修

あいにくの天気で時間が短縮されての実施だったことは残念だったものの、講師の田中利勝氏の話は野鳥・樹木・植物など、いずれに対しても深みがあり、身近な自然への新しい視点や知識を提供して下さり、何とも楽しいひとときとなった。レポーターのみならず、身近な葛飾区の貴重な自然を知る上でも葛飾区民の方々にも是非とも知っていただきたい内容だった。

1月9日（土）東金町6～7丁目 江戸川堤

江戸川の水面に、オオバン7羽・カムリカイツブリ1羽の姿あり。



1月16日（土）東金町6～7丁目 江戸川堤

気温 18 度と春が来たような暖かさ。ふと足元に視線を送ると、オオイヌノフグリの青い花が咲いていた。

野鳥はツグミ・オオバン、そして上空にはトビがゆっくりと螺旋を描くように飛ぶ姿が見られた。

1月17日（日）東金町6～7丁目 江戸川堤

この日確認できた野鳥は、ヒヨドリ（2）・モズ（1）・スズメ（多）・オオバン（4）・トビ（1）。

2月22日（月）東金町6丁目 江戸川堤

出勤時に自宅玄関を出ると、江戸川堤方面からヒバリの囀りが聞こえてきた。ヒバリの囀りが聞こえてくると、春の到来が感じられる。日を追うごとにヒバリの囀りが増えてくると思うと、何とも気持ちが和む。

# 季節の写真集 (12月~2月)



「コサギ」  
12/5 宝町  
名前：神山 隆敬



マンリョウ  
「Merry Christmas & Happy New Year」  
12/6 区北西部 名前：石鍋 壽一



「下から開花」  
12/31 お花茶屋  
名前：R



「ナンテン」  
12/31 お花茶屋  
名前：Ryu

「初日の出と雀」  
1/1 柴又3丁目  
名前：瑛ちゃん



# 季節の写真集 (12月~2月)



コサギ  
「お食事あるの？」  
1/28 四ツ木  
名前：神山 隆敬



見つけた♪



ハイタカ  
「正月の鷹」  
1/2 区北西部  
名前：石鍋 壽一

「雪と犬」  
1/28 お花茶屋  
名前：R



「冬の樹」  
1/19 お花茶屋  
名前：Ryu



「優雅」  
2月 水元公園  
名前：瑛ちゃん





# 季節の写真集 (12月~2月)



シュンラン  
「いただいた。節分過ぎ咲いた。」  
2/6 区北西部 名前：石鍋 寿一



「ヒレンジャク」  
2/5 水元3丁目 名前：佐々木 定治



アカタテハ  
「羽が切れちゃったけど元気だよ」  
2月 柴又3丁目  
名前：瑛ちゃん

「沈丁花」  
2/28 お花茶屋 名前：Ryu



「紅梅」  
2/17 東堀切  
名前：R

「マヒワ」  
水元公園  
名前：高橋 雅子



葛飾柴又新八水路 魚からの便り-281

調査回数 調査日 地点		283			備 考
		2020/12/6			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	6 25-45			
2	カ ダ ヤ シ		70 15-37	111 11-30	特定外来生物
3	タイリクバラタナゴ		1 19	5 11-23	
4	ヌ マ チ チ ブ	17 22-74			
5	マ ハ ゼ	2 117-123			
6	メ ダ カ		159 12-30	94 12-25	
計		3種類25個体	3種類230個体	3種類210個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて6種類465個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ時々曇り、気温14.5℃、水温 本流10.0℃、新八水路10.2℃、新八ワンド11.1℃（14:30頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
 (10:00) 1.81m (12:00) 1.72m (14:00) 1.46m

【参加者コメント】

- ・ 午前中は水位が高くて投網が打ちにくかったが、午後はやや下がった。  
 午後最後に打った投網に大きな木の枝が引っ掛かり、外すのに苦労した。測定後に網を片付けていたら大きなマハゼが活きたまま発見された。誠にうかつだったことを深く反省した。（YK）
- ・ 旧柴又水路近くに、タコノアシが生えていました。ワンドでは減っているようですが、所々で生き延びているようです。  
 はじめてクイナを見ました。北部日本で繁殖し、冬は中部以南に渡って来るそうです。（KI）
- ・ 今年も水の冷たさとの戦いのシーズンに入ったことを実感した。  
 ワンド周辺の枯れ枝の伐採や下草などの草刈りも大方終わり、ワンド周辺がすっきりし、外からもワンド全体を見渡すことができるようになった。（SI）

【今後の調査日】

2021年 1月30日（土） 2月27日（土） 3月27日（土） 4月10日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-282

調査回数		284			備 考
調査日		2021/1/30			
地点		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	6 27-46			
2	カ ダ ヤ シ		38 15-39	19 12-23	特定外来生物
3	タイリクバラタナゴ		4 17-30		
4	ヌ マ チ チ ブ	7 27-54			
5	メ ダ カ		51 16-36	13 11-27	
計		2種類13個体	3種類93個体	2種類32個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて5種類138個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温8.3℃、水温 本流7.4℃、新八水路7.1℃、新八ワンド8.1℃（14:30頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
 (10:00)1.61m (12:00)1.64m (14:00)1.66m

【参加者コメント】

- ・ 矢切の渡しが止まるほどの強風、投網は苦戦になりました。  
 冬場は特に、誰かが袋に水を入れているのを見ると動揺しがちです。  
 タンポポが、茎をほとんど伸ばさず地際で花を付けていて、それでも春が近いのかと思います。（KI）
- ・ 新八水路は一面に氷が張っていた。ワンドの水は澄んでいた。本流は風で波立ち、泥が巻き上がり濁っていた。  
 四人で調査を行ったが、冬場に限定すれば、四人が効率的に作業することで必要な調査が十分行えたと感じた。（SI）

【今後の調査日】

2021年 2月27日（土） 3月27日（土） 4月10日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

## 葛飾柴又新八水路 魚からの便り-283

調査次数 調査日 地点	285			備 考
	2021/2/27			
	本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	7 35-77		
2	ア ユ	8 71-89		
3	オ イ カ ワ	1 35		2 23-29
4	カ ダ ヤ シ		10 15-28	17 12-27 特定外来生物
5	ギ ン ブ ナ	1 90		
6	ク ロ ダ ハ ゼ	3 27-28		
7	タイリクバラタナゴ		2 23-35	
8	ヌ マ チ チ ブ	4 27-58		
9	ハ ス	1 67		
10	マ ハ ゼ	3 37-95		
11	メ ダ カ		66 15-30	25 12-28
12	モ ツ ゴ			3 24-74
計		8種類28個体	3種類78個体	4種類47個体

- ・上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて12種類153個体の魚類が採集されました。
- ・晴れ、気温8.5℃、水温 本流9.5℃、新八水路10.5℃、新八ワンド11.8℃(14:20頃測定)

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
(10:00)1.61m (12:00)1.57m (14:00)1.58m

## 【参加者コメント】

- ・幸先良くギンブナが採れ、引き続いてアユも上がった。アユは禁漁期なので現場の手網の中で測定して直ちに再放流した。この時期のアユはワカサギやサケにかなり似ている。  
全長20mm代のアシシロハゼとクロダハゼが数個体ずつ採れた。クロダハゼは以前はなかなか見られなかったが、最近近くで繁殖したのかもしれない。  
クロダハゼは以前「トウヨシノボリ」とか「ヨシノボリ橙色型」と呼ばれていた魚で、和名は記載者の名字に因んで付け替えたのだが、和名には学名のような先取権はなく、「和名は属するグループが判るように付けるべし」という魚類学会の勧告からも外れている（YK）
- ・ウグイスが中の島あたりでさえずり始めていました。藪と認定されたようです。例年、2月頃に採れるサケがいなかったのは、コロナウイルス流行によるイベント自粛のためでしょうか。（KI）
- ・今月も大変寒い中の調査だったが、たくさん投網を投げるとだんだん体も温まってきた。  
しかし、水温も低いせいか浅瀬の方には魚も殆どいなかった。少し深いところではアユなどもいて、春を感じられた。来月はボラなど、もっとたくさん魚が取れたらいいと思う。（AN）

## 【今後の調査日】

2021年 3月27日（土） 4月10日（土）

HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚類出現状況

No.	調査次数 年次 回数・日程 標準和名\地点	1-48	49-106	107-163	164-223	224-235	236-247	248~259	260~271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285																																									
		96-00	01-06	06/4-10	2011-15	2016	2017	2018	2019	2020														2021																																								
		48回	58回	57回	60回	12回	12回	12回	12回	1.25	2.23	3.28	4.25	5.16	6.20	7.4	8.1	9.5	10.3	11.1	12.6	1.30	2.27																																									
	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新																																								
	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八																																								
1	イセゴイ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
2	ウキナ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
3	ワカサギ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
4	アユ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
5	サケ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
6	タモロコ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
7	スゴモロコ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
8	デメモロコ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
9	ヒガイ属	●	○	○	○	○	○	○																																																								
10	ニゴイ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
11	カマツカ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
12	ツチフキ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
13	モツギ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
14	マールタ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
15	ウグイ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
16	カワムツ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
17	オイカワ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
18	ハス	●	○	○	○	○	○	○																																																								
19	ワタカ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
20	ハクレン	●	○	○	○	○	○	○																																																								
21	キンブナ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
22	ギンブナ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
23	ゲンゴロウブナ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
24	フナ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
25	キンギョ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
26	コイ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
27	コイトフナの雑種	●	○	○	○	○	○	○																																																								
28	ヤリタナゴ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
29	イチモンジタナゴ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
30	アカヒレタビラ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
31	タイリクバラタナゴ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
32	ドジョウ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
33	カラドジョウ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
34	アメリカナマズ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
35	ナマズ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
36	クルマサヨリ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
37	メダカ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
38	メダカ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
39	ボラ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
40	メナ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
41	カムルチ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
42	スズキ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
43	オクチバス	●	○	○	○	○	○	○																																																								
44	コクチバス	●	○	○	○	○	○	○																																																								
45	ブルギ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
46	シマイサキ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
47	ヒイラギ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
48	スマチチブ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
49	チブ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
50	シモフリシマハゼ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
51	ゴクラクハゼ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
52	クロダハゼ(※)	●	○	○	○	○	○	○																																																								
53	ヨシノボリ属	●	○	○	○	○	○	○																																																								
54	ベリンゴ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
55	ウキゴリ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
56	スミウキゴリ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
57	ウキゴリ(型不明)	●	○	○	○	○	○	○																																																								
58	マゼ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
59	ハゼ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
60	アシシロハゼ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
61	ヒナ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
62	ナハ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
63	ハゼ	●	○	○	○	○	○	○																																																								
64	地点種類数合計	42	36	40	30	39	27	28	41	23	27	31	11	12	29	11	10	31	10	9	32	11	7	2	3	3	5	5	2	7	3	2	7	4	1	8	3	6	15	6	4	17	9	3	20	4	2	13	4	3	8	4	2	6	8	2	3	3	2	3	2	8	3	4

●・初採取

※:和名がヨシノボリ(橙色型)からクロダハゼに変わりました。

## 環境課からのお知らせ



自然環境係 電話5654-8237 (直通)

# 「かつしか環境・緑化フェア2021」 を開催いたします♪



【開催日時】令和3年6月13日(日) 10時～16時(予定)

【開催場所】テクノプラザかつしか(青戸7-2-1)

※詳細は広報かつしか6月5日号をご覧ください。なお、現時点では行う予定ですが、新型コロナウイルス感染状況により、中止となる場合がございます。

自然環境レポーターで、パネル展示作成ボランティアを引き受けてくださった方、ありがとうございます。

作成するのは難しいけれど、クイズの問題を考えたり、写真を提供したりすることは出来る！こんなパネルがあったらいいな…等アイデアがございましたらご連絡ください。

また、「かつしか環境・緑化フェア2021」の当日、お手伝いをしていただける方を後日、募集いたします。当日は色々なブースに分かれての出店をしておりますので、是非お立ち寄りください♪

令和3年3月13日(土)の「写真講座(初級編)」は、悪天候のため、4月に延期させていただくことになりました。日程が決まり次第、ご連絡させていただきます。



### 《お詫びと訂正》

「水辺のふるさとかつしか」冬号(第315号)のP.6に誤りがありました。

7行目：午後6頃→午後6時頃

19行目：10月4日(月)→10月4日(日)、気温2度くらい→気温20度くらい

ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。※ホームページは差し替え済みです。

～春号でご協力いただいたみなさま～

Rさん、石鍋壽一さん、瑛ちゃん、江戸川の小鮒さん、  
K. Nさん、神山隆敬さん、佐々木定治さん、散歩の花子さん、  
高橋雅子さん、田村ひろ子さん、T. Kさん、藤並剛さん、  
森本龍司さん、弥生さくら草さん、RYUさん、ゆきひめさん、  
自主生物調査団(編集:一澤成典さん)

ご協力ありがとうございました☆彡

「水辺のふるさとかつしか」第316号  
(葛飾区 自然環境レポーター通信第268号)

令和3年3月末日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522～3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538

校正:NPO 法人水元ネイチャープロジェクト



◆「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。